

平成 25 年度における FIRST 公開活動の実施方針について(案)

平成 25 年 6 月 20 日

最先端研究開発支援推進会議

1. FIRST 公開活動の概要

(1) 公開活動の目的

FIRST の加速・強化を図る観点から、中心研究者・研究課題の研究内容等について、シンポジウムの開催により、広く公開。FIRST に係る基金とは別に平成 22 年度から毎年度、補助事業により支援(平成 25 年度予算:2億円)。

(2) 内容(平成 24 年度まで)

① 一般シンポジウム

- ・一般国民を対象に、中心研究者と若年層(高校生等)との対話、FIRST パンフレットの作成、テレビ放映等を内容とする一般シンポジウム企画※を支援。

※うち一回は内閣府が主催する「科学・技術フェスタ(平成 25 年度は開催なし)」と連携した開催

② 国際シンポジウム

- ・研究者を対象とし、研究課題ごとに当該専門分野に特化して企画される国際シンポジウムの開催を支援(実施機関は、当該研究課題の研究支援担当機関が主)。このため、研究課題側が基金の研究費により開催する各種会議等の開催と、本補助事業により開催する場合の 2 種類があった。

2. 平成 25 年度の実施方針

平成 25 年度は、FIRST の最終年度であることを踏まえ、これまでの成果を取りまとめ、力強く社会に発信するとともに、FIRST で創出した研究成果の次のステージへの円滑な橋渡しや、研究現場における隘路等の改善により、イノベーション創出を加速する観点から、従来の内容を大幅に見直し、次の視点で実施する。

(1) 一般シンポジウム

- ア. FIRST の成果展開がイノベーション創出と経済成長への鍵であることを社会全体に力強く発信するとともに、アカデミアと産業界の交流を実質的に活性化する一般シンポジウム

(構成イメージ)

オープニングリマークス: 内閣総理大臣

チェアパーソン : 科学技術担当大臣

キーノート : FIRST 中心研究者、産業界代表、若手研究者代表

マッチングセッション : 産業界や若手研究者との意見交換、情報交換の場の設定

クロージングリマークス: CSTP 議員

イ. 最終年度を迎えたFIRSTの各研究課題について、これまでに投じた研究資源と研究成果を明らかにしつつ、今後の課題・展望を分かり易く一般社会に訴求し、FIRSTのプログラムの意義の理解を深める観点からの一般シンポジウム

(構成イメージ)

オープニングリマークス: 科技担当大臣

セッション 1: ライフサイエンス領域の FIRST 中心研究者 5 名による報告

セッション 2: 医療工学領域の FIRST 中心研究者 4 名による報告

セッション 3: 物質材料領域の FIRST 中心研究者 8 名による報告

セッション 4: 数物・情報領域の FIRST 中心研究者 7 名による報告

セッション 5: 機器・システム開発領域の FIRST 中心研究者 6 名による報告

それぞれ、これまでの研究成果の総括と、今後の課題と展望等を発表

クロージングリマークス: CSTP 議員

ウ. FIRSTの最先端の研究開発の意義と科学技術の魅力を、中心研究者自らが次世代を担う若者に対して、多様な媒体を活用しながら社会に伝達する一般シンポジウム

(構成イメージ)

オープニングリマークス: CSTP 議員、実施機関代表

キーノート: FIRST 中心研究者

FIRST 中心研究者/実施機関/シンクタンク: FIRST の研究成果と、それによる社会への影響及びその費用対効果(平易に)

シンクタンク: 我が国の科学技術動向について(理科離れ、日米の若手研究者の比較など)

パネルディスカッション: 高校生、中心研究者、ジャーナリスト

シンポジウムの効果を高めるために製作が想定される広報媒体:
FIRST パンフレット(研究成果中心)、一般シンポジウムの開催成果集等

(2) 国際シンポジウム

ア. 最先端の研究課題の実用化等に向けた進展の中で直面する各種課題のうち、研究者の努力では克服困難な課題と処方箋を、最先端の研究開発の現場から具体的に明らかにし、政策提言へ結びつける国際シンポジウム

(構成イメージ)

オープニングリマークス: 科技担当大臣

キーノートスピーチ : 海外のトップレベル研究者又は政策担当者等
実用化等を目指す最先端研究開発現場からの報告①②

パネルディスカッション(中心研究者、産・学・官(CSTP 議員)代表)

クロージングリマークス: CSTP 議員

イ. 科学知の探究や新理論による領域の開拓などサイエンスチャレンジングな観点で研究開発を実施する研究課題を対象としたシンポジウム

(構成イメージ)

オープニングリマークス: 科技担当大臣

キーノートスピーチ : 海外のトップレベル研究者又は政策担当者等

中心研究者と世界トップを競う海外の最先端研究開発現場からの報告
パネルディスカッション(中心研究者、産・学・官(CSTP 議員)代表)

クロージングリマークス: CSTP 議員

ウ. 領域的に関連する複数の最先端の研究課題又は異分野間の連携・融合が期待できる複数の研究課題が共同して、産学官の連携、人材の流動化、研究支援体制のあり方など、イノベーション創出環境の改革に向けた具体的な政策提言を現場目線で明らかにする国際シンポジウム

(構成イメージ: ライフサイエンス領域の場合)

オープニングリマークス: CSTP 議員

キーノートスピーチ : ノーベル賞研究者/FIRST 中心研究者

iPS 又は ES 細胞を使った再生医療、細胞シート工学の成果報告等
パネルディスカッション: 複数の中心研究者、他省庁プロジェクト代表者、
CSTP 議員

産学交流セッション: アカデミアと産業界の交流、情報交換

クロージングリマークス: 中心研究者

エ. FIRST の中心研究者がこれまで身を置いてきた経験から、研究環境を取り巻く現状についての助言・示唆と併せて、若手・女性研究者の研究成果の発信を図りつつ、当該研究者相互による評価手法の開発、若手・女性研究人材の能力が最大限発揮できる研究開発環境の国際比較、大学・研究開発法人などの研究開発機関の課題等を、若手・女性研究者の目線で明らかにし、今後の政策提言に結び付ける国際シンポジウム

(構成イメージ)

オープニングリマークス: 科技担当大臣

キーノートスピーチ : FIRST 中心研究者

分野・領域毎の分科会において若手・女性研究代表者の研究発表(ポスター)

特定分野・テーマについてのパネルディスカッション: 中心研究者、複数の
NEXT 研究代表者、他省庁の競争的資金を受けている若手・女性研究者、
国外の若手・女性研究者等

若手・女性研究者による優良研究成果(ポスター発表)に対する投票・表彰

FIRST 中心研究者: 若手・女性研究者の研究成果への講評

クロージングリマークス: CSTP 議員

シンポジウム終了後、情報交換会等の開催

シンポジウムの効果を高めるために製作が想定される広報媒体：
若手・女性研究者の研究成果集 等

3. 実施機関の選定

(1) 選定手順

実施機関の選定については、「最先端研究開発戦略的強化事業の継続実施にあたっての運用について」(平成 23 年 5 月 13 日総合科学技術会議決定)に従い、推進会議が公募を行い、要件に基づく審査をして、推進会議において、助成額と合わせて決定する。なお、実施機関は、研究支援担当機関にこだわらず、民間企業も含め、適切な者を選定する。

(2) 選定スケジュール(予定)

- 6 月 20 日(木) 推進会議
・平成 24 年度の実績報告及び平成 25 年度の実施スケジュールの確認
すみやかに公募開始
- 7 月 25 日(木) 公募締切
事務局による書面及びヒアリングによる審査
- 8 月上中旬 推進会議
・実施機関及び助成額の決定
- 8 月中 実施機関への補助金の交付決定
- 9 月以降 申請された日程にもとづき随時開催
- 各シンポジウムは、12 月～翌 3 月を目途に開催